

令和6年5月10日	
資料提供	
担当課	有田振興局農林水産振興部 農業水産振興課
担当者	普及グループ 古田
電話(直通)	0737-64-1273

令和6年産有田地方かんきつ類の着花状況調査結果

調査者：JAありだ、JAグループ和歌山農業振興センター、農業共済組合、
近畿農政局和歌山県拠点
県 果樹園芸課、果樹試験場、有田振興局 合計28名

調査日：令和6年5月1日（水）

令和6年産かんきつ類の着花状況は、総体的にやや多い。園地や樹によるバラツキが大きい。

満開期は、平年より早くなる見込み。

各品目別の詳細は以下のとおり。

(1)温州みかん（118園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並。樹勢は中程度であったが弱っている園も見受けられる。

[平年に比べ、発芽期は1日程度、展葉期は1日程度早かった。（早生品種、果樹試験場調べ）]

②満開期は極早生で5月3日頃（平年より4日早い）、早生で5月4日頃（平年より4日早い）、普通で5月4日頃（平年より5日早い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、極早生で10.6、早生で9.6、普通で10.0であった。

(2)はっさく（9園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月4日頃（平年比6日早い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、8.4であった。

(3)清見（9園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月4日頃（平年比6日早い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、11.3であった。

(4)不知火（13園調査）

①新梢の発生や着葉数は平年並み、樹勢は中程度であった。

②満開期は5月6日頃（平年比4日早い）と思われる。

③着花指数は平年を10とした場合、9.8であった。